

年金年報モ貢獻スヘキテ

外曲會ニ外ル隸曲モ升管シム、難事莫有ニ若以サヌトニ
セチテヘセム此站ニ度此ニ其當行不相應モ出立セテ外曲會工
セテ原ル連ヘ風ナハ營業封閉ヘ此後、未セテ此を活用シ、以次
リ本支事務處上モ苗頭アリ又時事甚シテ在支事務處之入リ
者、ニ大油八事取來テ市管ハ官署所トモ計定セサル此後モト
本支事務處會合モ本會ノ事務處

外支事務處聯合モ年金問題モ實業社モ其代役由ハ其又題
事由足利ハ著書ハ相聲學ハ故ニ年金問題モ實業社モ早
速出

體會ハ御益第二福地在モ假名ナムセ

ニ年金問題モ一書聲樂員モ著此モ又此日角モ娘モ朝軍共營
當兵解雇問題モ其問題モ其身モ出立モ年金問題モ同前
モ朝軍共營問題モ年金問題モ其身モ

(甲) 軍共營問題全歸賀吉誠ハ貴 本講義

之ガ爲メノ掛金ノ増額ハ我等ノ苦痛トスル處ナルモ一昨年ノ
改正ニ依リ掛金還付主義ガ確立サレ懲戒解雇其他如何ナル場
合ト雖モ掛金金額ハ脱退給付金トシテ返還サレルノデアルカ
ラ此際一時ノ苦痛ヲ忍ンデ年金制度ヲ獲得スル事ガ寧ロ特策
ナリト信ズルモノデアル

共濟組合掛金増加スル問題ナルガ故ニ更ニ組合員一般ノ音響
ヲ聽取シタル上ニテ決定スルコトニ可決

十四 役員選舉ノ件

委員長	宮 本 靜 一
会 計	尾 崎 喜 太 郎
主 事	川 村 保 太 郎
書 記	岩 狹 間 與 吉
本 前	田 修 三